

# グローバル人材育成センター埼玉

## 一人材育成から就職支援までをワンストップ

埼玉県県民生活部国際課グローバル人材育成担当 秋山 敦

AKIYAMA Atsushi

キーワード： グローバル人材育成、留学支援、就職支援

### はじめに

埼玉県では2011年度にグローバル人材の育成のため、県が10億円を出資してグローバル人材育成基金を創設しました。この基金を活用した給付型の「埼玉発世界行き」奨学金により3年間で800人の海外留学を支援してきました。

「埼玉発世界行き」奨学金制度の派遣人数 800人の内訳

	(人)			
	計	H25	H24	H23
学位取得コース(大学、大学院への学位取得目的で最長4年間)	31	10	10	11
協定・認定コース(協定や在籍大学の認める6か月以上の留学)	624	200	213	211
高校生留学コース(学校長が許可する3か月以上の留学)	145	61	53	31
合計	800	271	276	253

また、本県の大学、短大合わせて41の大学には世界68の国と地域から来た4,000人以上の若者が留学しています<sup>1</sup>。加えて、日本語学校や各種ビジネス専門学校でも相当数の若者が学んでいると思われます。

こうした留学を目指す国内外の若者に対するサポートは、7月、8月号の『留学交流』でも特集されました<sup>2</sup>。

埼玉県においてもグローバル人材である日本人帰国留学生や外国人留学生の育成と就職が課題となっています。

日本人学生は帰国時期が大学4年生の6月～7月頃になるため、就職活動が大幅に遅れ、一般の学生より就職活動が不利となる傾向にあります。一般学生の就職率(全国の大学学部)が2013年4月1日現在、93.9%であるのに対し、2011年度「埼玉発世界行き」奨学生は2013年5月1日現在で約7割<sup>3</sup>の就職率にとどまっています。

また、アジアを中心とする外国人留学生も貴重なグローバル人材ですが、大学の留学生課と就職課のいずれのフォローも受けられず、日本での就職を希望する外国人留

<sup>1</sup>県内55大学が加盟する留学生推進協議会の平成25年5月1日時点の調査。

<sup>2</sup>千葉大学の4年かかる学業を3年半で終わらせ半年留学するという「スキップ・ワイズ・プログラム」や、海外からの留学生に対する高松大学の留学生サポートの仕組みなど。

<sup>3</sup>平成23年度埼玉発世界行き奨学生の卒業翌年度の5月1日時点の就職率。

(就職者数/就職者数+就職活動中の人数)

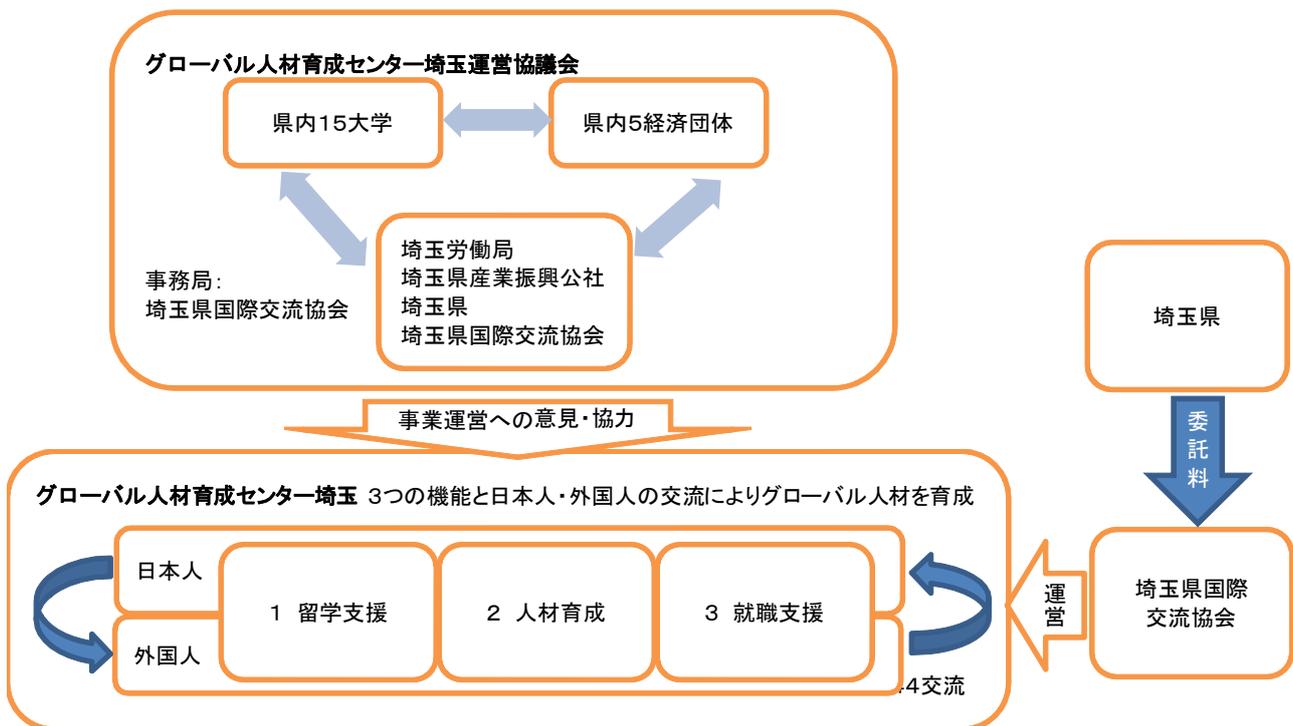
学生の3割以上が就職につながらないという状況がありました<sup>4</sup>。日本での就職を望んでいる外国人留学生に、適切な就職先を紹介することは県内企業のニーズにも合致するものです<sup>5</sup>。

そこで埼玉県では、これまでのグローバル人材の留学支援に加えて、人材育成と就職支援をワンストップで行うグローバル人材育成センター埼玉、英語名 Saitama Center for Go Global Students（以下「GGS」という）を7月1日にオープンさせました。

本稿では、このGGSの機能や特徴、これまで取り組んだ事業の概要及び目標について述べることにします。

## GGSの運営

グローバル人材の育成には、行政だけでなく、大学、企業など関係機関が連携して取り組むことが重要です。そこでGGSの運営についての御意見をいただくため、埼玉大学など県内15大学、埼玉県経営者協会など5経済団体、埼玉労働局など4行政団体を構成員とするグローバル人材育成センター埼玉運営協議会を4月に設置しました。行政団体以外の会員には会費を御負担いただき、各事業に主体的に取り組んでいただいております。



<sup>4</sup>県内55大学が加盟する留学生推進協議会の平成25年5月1日時点の調査。

<sup>5</sup>2013年6月以降9月末現在までのグローバル人材育成センター埼玉の企業採用動向調査で外国人グローバル人材を採用する意向があると回答した90社のうち、約1/3の33社がすぐにでも採用したいと回答。

この GGS は、留学支援、人材育成、就職支援と日本人・外国人の交流を主な事業としており、その運営は県から（公財）埼玉県国際交流協会（以下「協会」という）に委託しています。

会員からの会費とグローバル人育成基金を原資とする県からの委託料により、運営協議会の御意見をいただきながら運営しています。

### 運営体制と設置場所

GGS のスタッフは、センター長（協会の事務局長との兼務）、副センター長以下 3 人の常勤スタッフ、4 人の非常勤及びアルバイトが交代で入り、常時 5 人程度がおります。設置場所は、埼玉県浦和合同庁舎（北浦和駅から徒歩 8 分）3 階の協会本部の隣に独立したスペースを確保し、来客用に相談コーナーや情報提供コーナーを設けております。



### GGS の機能

#### 1. 留学支援

海外を目指す若者及び日本で学ぼうとする海外の若者を増やすため、国内や海外の留学フェアで留学相談に応じるとともに、海外留学や本県への留学に関心を持っていただくよう情報発信を行っています。

GGS 設立前の 2011 年度から実施している海外留学フェアでは、「埼玉発世界行き」奨学金や姉妹省州の関係に基づく留学など多様な支援を説明するとともに、留学そのものの意義や効果をアピールする講演会を実施しています。

平成 25 年度は 12 月 14 日（土）（11:00～17:00）に大宮ソニックシティで実施します。

会場には、イギリス、アメリカ合衆国をはじめ主な留学先の国々の留学支援制度と留学環境を説明いただくため各国大使館やフルブライト・ジャパン、AFS、ロータリー

財団、JASSOなどの団体に参加いただく予定です。

また、海外からの留学生に対して、県内大学を選択いただけるよう HP で発信するほか、中国国内で広く配布・販売されている『日本留学指南』紙面上での PR や、タイ王国（バンコク、チェンマイ）での日本留学フェアでの PR を行いました。

タイ王国での留学フェアでは GGS 加盟大学の資料を来場者に説明したほか、埼玉大学などブースを出している県内大学に直接来場者を御案内するなどの連携を図りました。



写真：隣り合った埼玉大学（左）と GGS（右）のブース（チェンマイ会場）

## 2. 人材育成

海外留学という貴重な経験をした若者や日本での就職を考える外国人留学生を真のグローバル人材へと育成する事業として研修やインターンシップの場を提供しています。

### 研修

日本人帰国奨学生向けの研修として、世界を目指す意欲と能力を高めるため、平成 24 年度から埼玉大学に委託し、大学の後期課程に合わせて、グローバルビジネス論や少人数のゼミ形式による“Communication for Global Leaders”など 11 講座を実施しました。

これらの講義の講師となるのは JICA や世界銀行の職員をはじめ国際舞台で活躍する、あるいは活躍した方々であり、授業のほとんどは英語で行われています。

どの科目も、90 分 15 回相当の授業であり大学の 2 単位に相当します。

平成 25 年度も同様に下記のとおり実施しておりますが、今回はグローバル人材のすそ野を広げるため、「埼玉発世界行き」の帰国奨学生のほか GGS の大会員や経済団体会員所属の学生・社会人で同等の英語レベルを有する人にも参加いただけるようにしました。

次表は平成 25 年度の講義概要です。

<b>I 基礎科目群(グローバル人材に必要な基礎知識の習得:大講義)</b>	
①	<b>国際公務員論</b> 国際機関が果たす役割について理論的観点から検証し、国際公務員の仕事やその任務の遂行に必要なスキルについて学ぶ。
②	<b>グローバル・ビジネス論</b> グローバル化・ボーダレス化するビジネス環境にあって、ビジネスの第一線で活躍中の実務化を招き、最も「旬」なテーマを解説・分析する。
<b>II グローバルに活躍するために必要なスキルの習得:少人数形式(15人以内)</b>	
③	<b>International Development Consulting: Practical Application</b> 開発援助業界の仕組みを俯瞰した上で、その最先端の現場でもある開発コンサルティングの役割や業務内容を学び、ワークショップを通じてコンサル業務を疑似体験する。
④	<b>Leadership and Management Practices in International NGOs</b> 国際NGOの現場の仕組み、目的を達成するための国際機関、政府、企業などの協業の仕方を講師と考え、グローバルなフィールドで活躍する意欲と能力を高める。
⑤	<b>Communication for Global Leaders</b> グローバル・リーダーに求められるコミュニケーション能力の開発を目指す。文化や背景の異なる多様な人々に向かって、自分の考え、意見を効果的に伝えるプレゼンテーション能力と討議能力を鍛える。
⑥	<b>Insights into Global Development</b> 国際開発に関係するテーマを選択し、関連する大量の英語文献を限られた時間で読み、小論文を英文でまとめる技術を養う。海外大学・大学院で学生が要求されるレベルを目指す。
⑦	<b>Leadership and Management Practices in International Organizations</b> 国際機関の実務で求められるリーダーシップやマネジメント能力、国際機関の現場の仕組みを、講師と考え、グローバルなフィールドで活躍する意欲と能力を高める。
⑧	<b>International Public Administration</b> 国際行政論の知識や理論的な理解は、国際機関において必要不可欠である。本講義では、理論的な枠組みを学ぶと同時に、経済、安全保障、地球環境、人権などの各分野において、国際行政の可能性と限界について理解を深める。
⑨	<b>Understanding Japan I – Politics, Economy and Diplomacy –</b> 在住外国人を講師とし、彼らの視点から日本の政治、経済、外交などについて語ってもらい、英語で議論し、真の国際人としての素養を養う。
⑩	<b>Understanding Japan II – Cultural Perspectives –</b> 在住外国人を講師とし、彼らの視点から日本の文化、芸術などについて語ってもらい、これに対して英語で議論することを通じて、真の国際人としての素養を養う。
⑪	<b>Understanding Japan III – Thought, Philosophy and Religion –</b> 外国人研究者を講師とし、彼らの視点から日本人の考え、哲学、宗教などについて語ってもらい、これに対して英語で議論することを通じて、真の国際人としての素養を養う。

## インターンシップ

「埼玉発世界行き」の帰国奨学生及び GGS 会員大学の外国人留学生を対象とするインターンシップは、グローバル展開をしている県内企業や豪州クイーンズランド州政府駐日事務所などの国際的な機関で7月～9月に実施しています。

日本人学生については、国際的な機関あるいは英語など外国語を使用する環境での仕事体験を通じて、実践力を鍛えてもらっています。また外国人留学生についても日本の会社で働くことのイメージを持っていただいております。

平成25年度は、埼玉県のみならず姉妹州である豪州クイーンズランド州政府駐日事務所など国際関係機関等10機関を含む28社・機関において、日本人32人、外国人留学生15人の計47人が概ね5日間程度のインターンシップを実施しました<sup>6</sup>。

こうしたインターンシップを通じて、昨年度は関連する国際業務を行う商社に就職した例がありました。

### 3. 就職支援

最も重要な課題である就職支援。グローバル人材を県内企業の就職にしっかりと結びつけるため、これまでの就職支援事業に加え10月1日からは無料職業紹介を開始し

<sup>6</sup> 2013年度の応募者は、日本人40人、外国人25人の計65人。日程や希望する職種が合わないなどの都合により、結果として47人の実施にとどまった。

ました。

無料職業紹介は、県内に本社、支社、営業所などがある企業が求めるグローバル人材と、求職中の日本人帰国留学生や外国人留学生を無料でマッチングするものです。

求人企業には自社の希望に合ったグローバル人材をピンポイントで紹介します。一方、求職者には希望業種の求人情報を定期的に提供し、特に外国人留学生に対しては就労可能な業務をピックアップして紹介するよう努めています。

また、GGS 会員大学の学生には、大学で行われる GGS スタッフによる巡回相談を実施するなど、双方のニーズに応じ柔軟な求人・求職支援を行う予定です。

日本人帰国留学生や外国人留学生の持つ知識や経験、国際感覚を有効に生かすことは、今後ますますグローバル化が進展すると予想される社会に対応する上で非常に有益です。

GGS の担当者は「グローバル人材と県内企業とをマッチングすることで、海外展開を目指す企業を支援すると同時に、アルバイト紹介などにより外国人留学生の生活支援を充実させていきたい」と話しています。

マッチングを希望する企業、学生、日本人帰国留学生や外国人留学生には事前に就職情報の登録をお願いしています。登録は GGS の窓口、あるいは HP 上から登録ができます。

#### 4. 交流支援

さらに、もう一つの機能は、日本人帰国留学生、外国人留学生の相互交流を図り、互いの文化に対する理解の促進と、こうしたグローバル人材同士を結び付けるネットワークを作ることです。ともすると、一緒に学んだ仲間も就職などを機会にばらばらになりやすいものです。メルマガやフットサルをきっかけにグローバル人材埼玉ネットワークに加入いただき、引き続き埼玉県との関係を切らさないよう交流を継続していくことにも力を入れていきます。

フットサルは「埼玉ワールドカップ 2013」大会を 10 月 19 日に埼玉スタジアム 2002 で大学 5 校 10 チーム、企業 7 社 10 チームの計 20 チームの参加を得て実施します。

その後の交流会では、企業と学生との交流を図り、海外からの留学生にとっては地元企業を知るきっかけに、また、企業にとっては、外国人留学生の人柄を知る絶好の機会としていきます。

GGS ではこのような取組をワンストップで行って、埼玉発のグローバル人材を育成し、日本人学生と外国人留学生がともに活躍の舞台を世界に広げることができるよう支援していきます。

埼玉で育成されたグローバル人材が、県内企業で活躍することで本県経済の活性化につながるものと考えています。

参考：グローバル人材育成センター埼玉（GGS）

[www.ggsaitama.jp](http://www.ggsaitama.jp)